

Y06a 天文学教育とキャリア教育の融合を目指したアクティブラーニングの実践

田中幹人 (東北大学)

グローバル化社会における大学教育において、専門スキルの向上だけでなく、コミュニケーション能力の育成を行う重要性は改めて述べるまでもないが、それをいかに育成していくかは大きな課題である。また、インサイドアウト型のキャリア形成をする現代の大学生は、特に理工系の分野でモラトリアムの的に大学院へ進学する者も多く、学士課程において、大学院への移行をスムーズに行う仕掛けが必要とされている。つまり、目の前の進路選択の情報を正しく伝え、かつ社会人生活など人生全般にわたったキャリア教育の提供が大学教育において課題となっているのである。

これまでの知識供給型の講義とは相補的な学習者のコミュニケーション力が試されるアクティブラーニング (Project-Based Learning と呼ぶこともある) など双方向の授業が現在注目を浴びている。そこで、特に知識供給型の講義が多かった理学教育において、学生のキャリア支援を目的としてアクティブラーニングを取り入れた授業開発を東北大学高等教育開発推進センターの協力の下行った。授業のベースは、国立天文台で12年間実施されてきた天文学の真の研究活動をチームプロジェクト形式で遂行する「君が天文学者になる4日間」で、まさに研究第一主義の理念を掲げる東北大学で実施するに相応しい。本研究では、君天をセメスターに展開し、リフレクションを導入することによって授業を構築した。学士課程向け君天は、本年度東北大学全学教育において実施し、23名の学生による授業評価アンケート(無記名)で、平均4.8点(全18項目、各5点満点)という好評価を得ることができた。特に、学生の自己効力向上が見られただけでなく、学生の語りを通じた分析から、研究者としてのキャリアの見直し、および社会人基礎力の育成に効果があることが分かったのでその詳細を本年会で報告する。